

## 岐阜米穀(株) メールマガジン

今回のテーマは

### 「加藤飲料に20%課税を検討するベトナム」

加糖飲料に20%課税を検討 食生活改善で外資やメーカーは反対  
ベトナムは加糖飲料への課税についての議論が浮上している。財務省は、国民の食生活の改善や肥満率の低下などを図るため、炭酸飲料といった糖分を含む飲料に対し特別消費税10~20%を課すことを検討しています。

対象となるのは糖分を含む飲料で、炭酸飲料、ソフトドリンク、スポーツドリンク、ボトルコーヒーや紅茶なども含まれる見通しです。

14年に炭酸飲料のみを対象に10%の課税が検討されましたが飲料メーカーなどの反対で見送りとなり2度目となります。

世界保健機構(WHO)が昨年、加糖飲料に課税し、商品価格を引き上げて加糖の消費量を減らすよう加盟国に要請しました。

加糖飲料への課税は世界的な流れで、糖尿病などの生活習慣病の予防に向け、糖分の摂取量を抑制することが必要のようです。

テレビ番組「健康カプセル!ゲんキの時間」(TBS)では、9月15日放送のテーマが『侮るな!食後の眠気&だるさ…大病も招く「糖質疲労」の正体や対策』、10月27日放送のテーマが『「糖尿病」をまねく“糖質依存”…“マイルドドラッグ”糖質依存から抜け出す方法』、と続けざまに放送されています。

岐阜米穀株式会社では、糖質を下げる方法として全粒穀物を使い易いようにして提案しています。

また穀物を飼料やバイオ燃料から食用に向ければ、食料危機は軽減される食料保険のポジションとなってくるのではないのでしょうか。

岐阜米穀では飼料として使われている穀物を、人が食べ易く慣れられるような考え方で新しい商品を開発しています

<リニューアル 新3種のオートミールのご案内>

今回は使えるオートミールにリニューアル致しましたのでご案内申し上げます。  
オートミールは西洋の食で、輸入したオートミールをそのまま使ってドロっとして食感や、におい・味が苦手という方もみえます。それはロール加工での柔らかで細かい物が食感を損ない雑味の原因なのですが、調理でもダマになったり、焦げたり、煮え切らない等の原因でした。

それを除去する方法を揃えて整粒にする工程に改善し、オートミールの問題点として指摘されていましたが袋内が均一化されておらず食べ始めと最後では粒感が違うというクレームを改善いたしましたので、料理にも使い易くなりました。

それぞれの粒の大きさが異なるS・M・Lと3タイプあり、シリアル用途の他に料理に使える幅が広がりました。QRコードで調理メニューを発信しておりますので、ご覧いただけないでしょうか。

シリアル用途以外にも使える調理メニューの一例です

- (商品) オートミールM 炊飯器で炊けるパン(ブランパンが17分で出来る)
- (商品) オートミールL 炊飯器で炊けるご飯や炊き込みご飯に使える
- (商品) オートミールM セルフスタイルの生グラノーラ

サンプルご希望の方はメールにてお申し込み下さい。  
どうぞよろしくお願い申し上げます。

~~~~~

◆◆展示会のご案内◆◆

ケアフード展(配食・給食サービス、介護食、厨房機器など、介護施設・介護現場に役立つ新商品・サービスを一堂に展示)

会期: 2024年12月4日(水)・5日(木) 9:30~17:00

会場: 吹上ホール(愛知県名古屋市中企業振興会館)

ブース: No.3-45

次回のテーマは「低コスト植物タンパク」

肉・卵を始め原材料の値上がりでプラントベースとしての商品開発の価値が上がってきています。そんな中でこれからの介護の食について蛋白質原料としての穀物の役割が重要になってきています。